

同時資料配布先：
経済産業記者会
学研都市記者クラブ

2021年12月23日

公益財団法人地球環境産業技術研究機構
次世代型膜モジュール技術研究組合

革新的 CO₂ 分離回収技術シンポジウム ～ 地球温暖化防止に貢献する固体吸収材及び膜による分離回収技術の最新動向 ～ 開催について

公益財団法人地球環境産業技術研究機構（RITE）と次世代型膜モジュール技術研究組合（MGM 組合）は、広くご関係の皆様にご紹介するため、2022年2月2日に「革新的 CO₂ 分離回収技術シンポジウム」を共同開催致します。

固体吸収材および分離膜を利用する CO₂ 分離回収技術は、温暖化対策の重要な選択肢の一つである CCUS（Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage）における低コストな CO₂ 分離回収技術として期待されています。

今回のシンポジウムでは、RITE の山地憲治理事長による基調講演の後、招待講演として三菱重工エンジニアリング株式会社脱炭素事業推進室の米川隆仁様、東京農工大学グローバルイノベーション研究院の兼橋真二准教授にご講演頂きます。また、RITE および MGM 組合が国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）委託事業において研究開発している固体吸収材および CO₂ 分離膜技術の最近の進捗についてもご報告いたします。

CCUS や固体吸収材、膜分離技術にご関心をお持ちの皆様には、最新動向をお聞き頂ける絶好の機会ですので、是非ご参加下さいますようお願い申し上げます。

※次世代型膜モジュール技術研究組合

（組合員：住友化学株式会社、公益財団法人地球環境産業技術研究機構）

1. 開催趣旨

日本では 2020 年 10 月に宣言された「2050 年カーボンニュートラル」と、2021 年 6 月に策定された「2050 年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」に基づいて、現在、様々な技術領域で地球温暖化防止のための取り組みが推し進められています。また、回収した CO₂ を利用するカーボンリサイクル技術も必要とされ、2021 年 7 月に改訂された「カーボンリサイクル技術ロードマップ（経済産業省）」では、DAC（Direct Air Capture）と合成燃料（e-fuel）が明記され、カーボンリサイクル製品の普及時期が 2040 年に前倒しされました。カーボンニュートラル達成に向けて、火力発電所や高炉を含め、様々な排出源から排出される CO₂ を効率よく分離・回収できる技術開発が強く求められています。

公益財団法人地球環境産業技術研究機構（RITE）と次世代型膜モジュール技術研究組合（MGM 組合）では、これら様々な領域で求められている CO₂ の分離回収技術に長年精力的に取り組んで参りました。当シンポジウムでは、現在両者が取り組んでいる CO₂ 分離回収技術の研究開発状況についてご報告させて頂くと共に、産学関係者の方々から CCUS（Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage）に関わる技術動向についてご講演頂き、皆様に広く最新の情報を知って頂きたいと考えています。

2. 開催概要

日時： 2022 年 2 月 2 日（水）13 時～17 時（受付開始 12 時 30 分）

会場： 東京大学 伊藤国際学術研究センター B2F 伊藤謝恩ホール

開催形式：ハイブリッド形式（会場での講演をオンライン配信）

ただし今後のコロナウイルス感染状況により、オンライン配信のみに変更することがあります。

定員： 会場 145 名、WEB 聴講 1000 名

定員に達した場合、参加方法のご変更もしくはキャンセルをお願いすることがあります。

参加費： 無料

主催： (公財) 地球環境産業技術研究機構と次世代型膜モジュール技術研究組合の共同開催

共催： 経済産業省、(国研) 新エネルギー・産業技術総合開発機構

後援： 日本 CCS 調査(株)、Global CCS Institute、(公社) 新化学技術推進協会、
(公社) 2025 年日本国際博覧会協会

協賛： (一社) 日本膜学会、(公社) 化学工学会 (予定)、(公社) 高分子学会 (予定)、
(公社) 日本化学会 (予定)

3. プログラム

13:00 開会

13:00 主催者挨拶 (公財) 地球環境産業技術研究機構 理事長 山地憲治

13:05 共催者挨拶 経済産業省
資源エネルギー庁 長官官房 カーボンリサイクル室長 土屋 博史

13:10 共催者挨拶 (国研) 新エネルギー・産業技術総合開発機構 環境部 部長 上原 英司

13:15 基調講演 「CCUS 実用化への展望と課題」(仮題)
(公財) 地球環境産業技術研究機構 理事長・研究所長 山地憲治

13:55 招待講演① 「二酸化炭素回収技術の開発経緯と今後の展望」
三菱重工エンジニアリング株式会社 脱炭素事業推進室 次長 兼
技術開発グループ グループ長 米川 隆仁

14:35 招待講演② 「高分子分離膜技術による CO₂ 分離回収」
東京農工大学 工学部 応用化学科 兼 大学院 工学研究院 応用科学部門
グローバルイノベーション研究院 准教授 兼橋 真二

15:15 休憩

15:30 活動報告① 「二酸化炭素固体吸収材の研究開発動向と RITE の取り組み」
(公財) 地球環境産業技術研究機構 主席研究員 余語克則

16:10 活動報告② 「二酸化炭素分離膜モジュール技術の研究開発概要」
次世代型膜モジュール技術研究組合 専務理事 中尾真一

16:50 閉会挨拶 次世代型膜モジュール技術研究組合 理事長 栗本 勲

17:00 閉会

4. 参加登録

参加を希望される方は、下記 RITE ウェブサイトよりお申し込み下さい。

<https://www.rite.or.jp/news/events/>

5. プレス登録

取材を希望される報道関係者の方も、事前にお申し込み下さいますようお願い致します
(やむを得ず当日受付となる場合は、本人確認のため名刺をご持参下さい)。

お問合せ先

○シンポジウムの内容・参加登録に関するお問い合わせ先：

・公益財団法人地球環境産業技術研究機構 龍治、菰野
TEL：0774-75-2305 E-mail：bunrisympo@rite.or.jp

○本プレス発表に関するお問い合わせ先：

・公益財団法人地球環境産業技術研究機構
企画調査グループ 広報・産業連携チーム 川口、辰巳
TEL：0774-75-2301 E-mail：pub_rite@rite.or.jp